ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

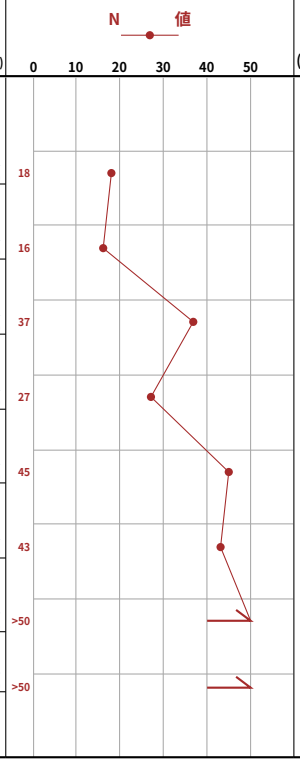
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.BV-2			調査位置								北　緯	36 ° 41 ' 14.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所					調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10					東　経	140 ° 06 ' 09.0000 "
調 査 業 者 名				主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者				ボーリング責任者	
孔 口 標 高	143.18 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 33.00 °	使用機種	試 錐 機			ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	8.25 m								エンジン			ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	142.78	0.40	0.40		表土 (SF)	暗褐灰		軟ら	上部10cm腐植土。粘土主体。		
1 2	140.48	2.30	2.70		固結粘土 (CC)	暗褐灰		硬い	粘着弱く、凝灰質を呈す。 礫径2から20mmの亜円礫、風化礫少量混じる。 1.65m付近より火山灰質細砂非常に多く混じる。		
3 4 5 6 7 8	134.93	5.55	8.25		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい 密な		礫径2から40mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。 礫間粗中砂、固結状の凝灰質粘土にて充填。 最大礫径8cmの礫少量混じる。 5.20m付近まで地下水無し。 5.20mより被圧の為、4.36mまで水位上昇。 6.50m付近より含水比は中位。		01/16 5.20

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	6	8	18／30	18
1.45					
2.15	4	5	7	16／30	16
2.45					
3.15	11	12	14	37／30	37
3.45					
4.15	8	9	10	27／30	27
4.45					
5.15	18	13	14	45／30	45
5.45					
6.15	14	14	15	43／30	43
6.45					
7.15	15	17	18／8	50／28	>50
7.43					
8.15	50			50／10	>50
8.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.15	1	A		
		2.15	2	A		
		3.15	3	A		
		4.15	4	A		
		5.15	5	A		01/16
		6.15	6	A		
		7.15	7	A		
		8.15	8	A		01/17